

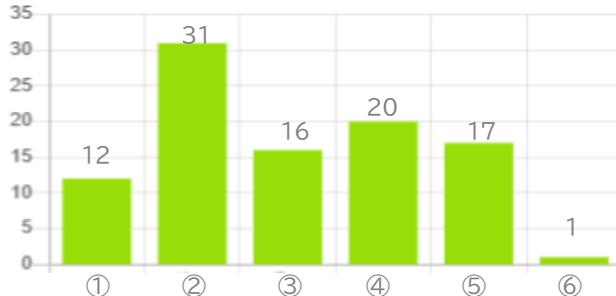
## 令和7年度訪問看護・病院経営者(看護管理者)講習会 アンケート結果

●アカウント数 70名(参加者数 81名<sup>※1</sup>)、 ●回答者 43名(回収率 61.4%<sup>※2</sup>)

※1)申込者のアカウントで複数名同席して参加が可能なため、参加者数を別途集計しています。

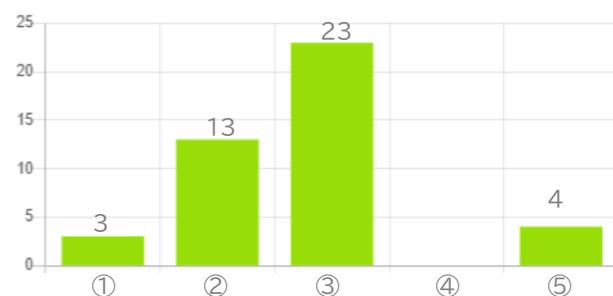
※2)アンケートの回答はアカウント単位のため、アカウント数を母数として回収率を計算しています。

### 問1)本日の講演について、最も危機感を感じた(課題だと思った)テーマ(複数回答) n=43



- ①2026年改定への対応(ホスピス規制・精神科適正化など)
- ②自社のポジショニング・差別化戦略の策定
- ③スタッフの採用・定着・人事評価制度の構築
- ④ICT/AI活用による業務効率化・生産性向上
- ⑤収支改善・損益分岐点の把握・資金繰り
- ⑥その他

### 問2)問1で回答した課題について、現在どのような状況か? n=43

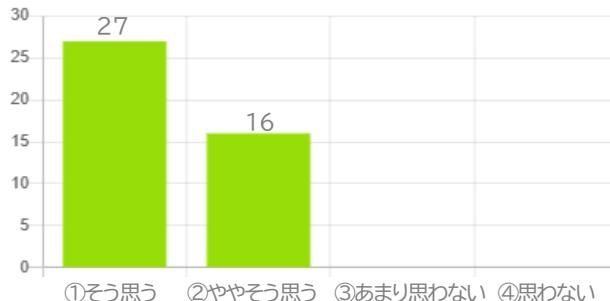


- ①すでに対策を進めており、順調である
- ②対策を進めているが、成果が出っていない・壁に当たっている
- ③課題だと感じているが、何から手をつければ良いか分からず
- ④特に課題とは感じていない
- ⑤その他(下記に記載)

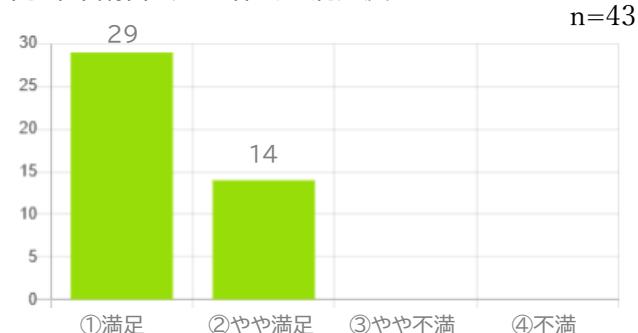
### 問2)「⑤その他」の自由記載

- ・ 問1①②:訪問看護を立ち上げる段階であり、今後の参考にしたい。
- ・ 問1④⑤:収入につながらない相談業務時間に右往左往されることがある。
- ・ 問1②③④⑤:病院併設のため評価制度が病院基準で統一され、訪問看護師の専門性や業務特性が十分に反映されず、病院看護師と同列に扱われて職能評価が低くなっている。

### 問3)本講習会に参加して、訪問看護の運営に関する知識は深まったか? n=43

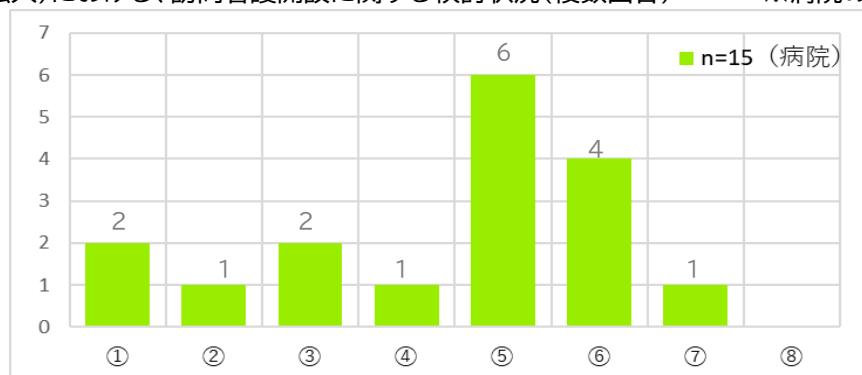


### 問4)本講習会の全体的な満足度について n=43



### 問5)施設(又は法人)における、訪問看護開設に関する検討状況(複数回答)

※病院のみ



- ①今後、「みなし訪問看護」の開設を検討したい
- ②今後、「指定訪問看護ステーション」の開設を検討したい
- ③現在、「みなし訪問看護」の開設を検討中
- ④現在、「指定訪問看護ステーション」の開設を検討中

- ⑤すでに、「みなし訪問看護」を開設済み
- ⑥すでに、「指定訪問看護ステーション」を開設済み
- ⑦開設の予定はない
- ⑧わからない

## 問6)講習会で参考になった点や感想等

## 【AI関係】

- AIの活用が参考になった(4)。

AIで計画書や報告書の作成・要約ができると嬉しい。タブレットで記録時間の短縮や医師への画像転送等行いたい。  
AIで利用を進めたい分野があり、紹介のあった先駆事例等を検索したいと思う。  
既存の電子カルテ内の記録を読み込ませる方法等について検討が必要と思った。

## 【今後の課題や取り組みについて】

- 他事業所との差別化は今後の課題(3)

戦略をどのように見出していくか考えていきたい。  
今後は機能別、特化した何かを事業所全体で共有し、他の事業所との差別化をして勝ち残らなければと思った。

- 3年後に向けたビジョンをしっかりと考えたいと思った。
- 複数ステーションでの夜勤専従訪問スタッフ採用など、思いもよらない事例があり、まだ検討できることがあると分かった。
- 開設して約10年、成熟期と思われ、スタッフの入れ替わりも少ないが故にマンネリ化している現状がある。さらに成長する為に対策を考えて行かなければならないと感じた。
- 患者数の獲得だけでなく、何を強みにしていくかで今後が決まるのは恐ろしいと感じた。変化していく訪問看護をどのようにつくりていくかが課題。
- 高齢化社会の中で、安定した生活ができるのかを、社会全体で検討していかなければならないが、困難な問題も、課題もたくさんあると思う。これらの問題を担っていく職員がいないことが問題と感じた。
- ステーションが増えていく中、利用者の奪い合いとなっており、依頼を増やす方法を模索していた。今日の講義参考に、自社の強みを伸ばしていく取り組みをして行きたい。
- 訪問看護の経営環境が大きな変革の時代に変わってきており、みなし訪問看護を始めたところで何から手を付けるべきか改めて考えられた。成果は別としてまず、自分たちに何ができるか、地域のハブとしてできる限りのことをするための目標をしっかりと立てていきたい。
- 開設したばかりで圧倒的に知識がたりず、今後の情報収集に励みたいと感じている。講義の中にあったように、1人当たりの損益最低ラインについて、しっかりとクリアできるように取り組んで行きたいと思う。
- 報酬改定に受けた準備が少しつき、取り組むべき課題が見えてきた。

## 【講義についての感想等】

- 来年度の訪問看護介護報酬改定がわかりやすかった(2)。
- 今後の訪問看護のあり方について考える機会となった。
- 最近のトピックスと、今後どのようにしたらよいかを関連づけた話だったのでわかりやすかった。
- 訪問件数を増やすための効率化は具体的でわかりやすかった。
- とても参考になった。訪問看護管理者の経験があるが、数年前とはかなり状況が変わっていることを認識できた。
- 管理者としてやっと経営面に目を向けられるようになったのでとても勉強になった。訪問の都合で途中参加となつたのが残念だった。
- 訪問看護事業構造でラスト10分だったので、もっとじっくり大日方先生講義で詳しく聞きたかった。
- 先日、家族が診察の場で介入相談したところ、訪問看護事業所から指示書の依頼をするのが当たり前だと医師に怒られた。もちろん切手つきで依頼をかけるケースだった。
- 千葉県は競合他社が多く、利用者の取り合いになっている現状がある。その中で利用者数を増やしていくのかの不安とそれに伴う経営に関しての不安がダブルパンチでのしかかっている為、自分自身がやっていけるのかなど不安がつきない。大手の訪問には勝てない為中小でも生き抜くすべを知りたい。
- 夕方5時から記録の時間と残業が常態化していた時代があった。残業0なんて無理と当時は皆が思っていたが、「変えないからいつまでも忙しい」の言葉とおり、現在はほぼ残業0になっている。柔軟に、変化を恐れず、時代に取り残されないよう今日の講習を参考にこれからを考えていきたい。

## 問7)訪問看護の運営等に関することで、今後、本講習会で取り上げてほしい内容

- AIの活用(3)

看護計画書、報告書の作成について。

訪問時間以外の業務効率アップに繋げられる活用方法(時間外勤務が少なく自分時間が持てるステーションにしたい)。  
事業所内の情報セキュリティポリシー等の作成方法など(当事業所では契約したクローズのAI契約があるので活用をすすめたいと考えている)

- 診療報酬改定について(3)

加算や戦略などについて。改定のたびに研修があるとよい。

- それぞれの訪問看護が実施している実例がとてもわかりやすかったので、今後も継続してほしい。

- 介護・看護の協同。職員同士のコミュニケーションについて。

- 介護情報基盤について

- 訪問看護ステーションのいまさら聞けないイロハのような、初心者講習など。

- 必須研修が増えてきてるので、順番に実施してくれるとありがたい。

- 訪問看護師の育成について

- 訪問の負担にならないよう、開始時間は15~16時以降が良い。